

第1回 福井県児童科学館 施設改善検討委員会



令和7年10月2日
福井県

目次

1 委員会について

設置目的とスケジュール

2 福井県児童科学館の概要

3 福井県児童科学館の現状と課題

①入場者数と利用料金収入の推移

②利用者アンケート結果

③ワークショップ結果

4 施設改善の主な論点について

5 その他<参考>

福井県の子育て支援について

1 委員会について

福井県児童科学館施設改善検討委員会について

1 委員会の目的

福井県児童科学館が開館30周年を迎える令和11年度を目途として、子どもが遊びを通して健やかに育ち、宇宙・科学に対する興味や関心を深める施設の設備・機能を検討するため、福井県児童科学館施設改善検討委員会を設置する。

2 構成委員

構成：学識経験者・教育関係者、展示・建築の専門家 計6名（マスコミ非公開、会議資料は公表）

分野	氏名	所属・役職等	備考
都市計画	みてら じゅん 三寺 潤	福井工業大学環境学部デザイン学科 教授	委員長
遊び	あわはら ともこ 栗原 知子	福井大学国際地域学部 准教授	
公共施設運営	いしざき たくや 石崎 琢也	福井県立大学経済学部経営学科 准教授	
教育	きもと しげる 木本 茂	福井県中学校教育研究会 理科部会長	
展示・科学	ほんだ たかゆき 本田 隆行	科学コミュニケーター	
建築・環境デザイン	たなか ただのり 田中 忠範	一般財団法人 福井県建築住宅センター 理事長	

3 今後のスケジュール（案）

- ・第1回委員会の意見を事務局にて整理し、施設改善に向けた「基本的な考え方」の策定に着手（第1回委員会後も、個別に委員に相談等を行いながら検討を進めていく方針）
- ・令和8年2月上旬に第2回委員会を開催し、今後の基本計画・設計の土台となる「基本的な考え方」をとりまとめ

2 福井県児童科学館の概要

福井県児童科学館の概要

1 名称および所在地

- (1) 名 称 福井県児童科学館（愛称：エンゼルランドふくい）
(2) 所在地 福井県坂井市春江町東太郎丸3-1

2 施設の概要

- (1) 設置主体 福井県
(2) 指定管理者 ふくい福祉事業団・丹青社 福井県児童科学館
運営共同事業体 (H31)
(3) 設置目的 遊びを通じて児童の健康を増進し、その情操を豊かにするとともに、科学に対する関心と理解を深めることにより、児童の健全育成を図ることを目的として設置
(児童福祉法に基づく児童厚生施設（大型児童館）)

3 利用時間

- ① 開館時間 9:30から17:00まで
ただし、7/1から8/31の間は、9:30～18:00まで
② 休 館 日 月曜日（休日を除く）
休日の翌日（土日休日を除く）、年末年始
※7/21から8/31は休まず開館

4 建物の概要

- (1) 規模 ①敷地面積：54,906m²
②建物構造：本館 鉄筋コンクリート造り地上2階
別館 鉄筋コンクリート造り地上2階
③建築面積：5,752m²（延床面積：7075.6m²）
④駐車場：普通車360台 大型車10台
(2) 総工費 約110億円（土地取得費を除く 約88億円）

5 建設経緯

平成 4年度	基本構想策定
平成 5年度	基本計画策定
平成 6年度	基本設計、地質調査、用地取得
平成 7年度	実施設計
平成 8～10年度	建築・展示工事(H8.10～H11.3.31)
平成11年 6月1日	開館
平成28年10月22日	展示エリアリニューアルオープン
令和 6年度	屋根全面改修工事 (R6.6～R7.4)
令和 6年 7月13日	入館者1,100万人達成
令和 7年 5月24日	開館25周年記念式典

6 名誉館長

宇宙飛行士 毛利 衛 氏 (平成11年6月～)

7 事業内容

（1）児童育成事業

プレイエリア（屋内遊具等）運営、ファンタジーエッグ運営
(子育て講座、季節行事)、屋外広場（遊具）運営、普及広報業務、児童支援ボランティア養成業務 等

（2）科学普及事業

展示エリア運営、コミュニケーションラボ運営（サイエンス教室、校外学習）、スペースシアター運営業務（プラネタリウム、星空観望会）、サイエンスショー運営（科学実験ショー、校外学習）、コンピュータールーム運営（コンピュータ教室）、クラフトルーム運営 等

（3）企画展業務 夏の企画展、青少年のための科学の祭典 児童館フェスタ

（4）その他 日本宇宙少年団業務（エンゼル分団）等

館内レイアウト（1階）

1階



スペースシアター
大人 520円
小中高生 260円
幼児 100円

スペースシアター

みんなのたのしいおみせやさん
きらきらエンゼルショップ

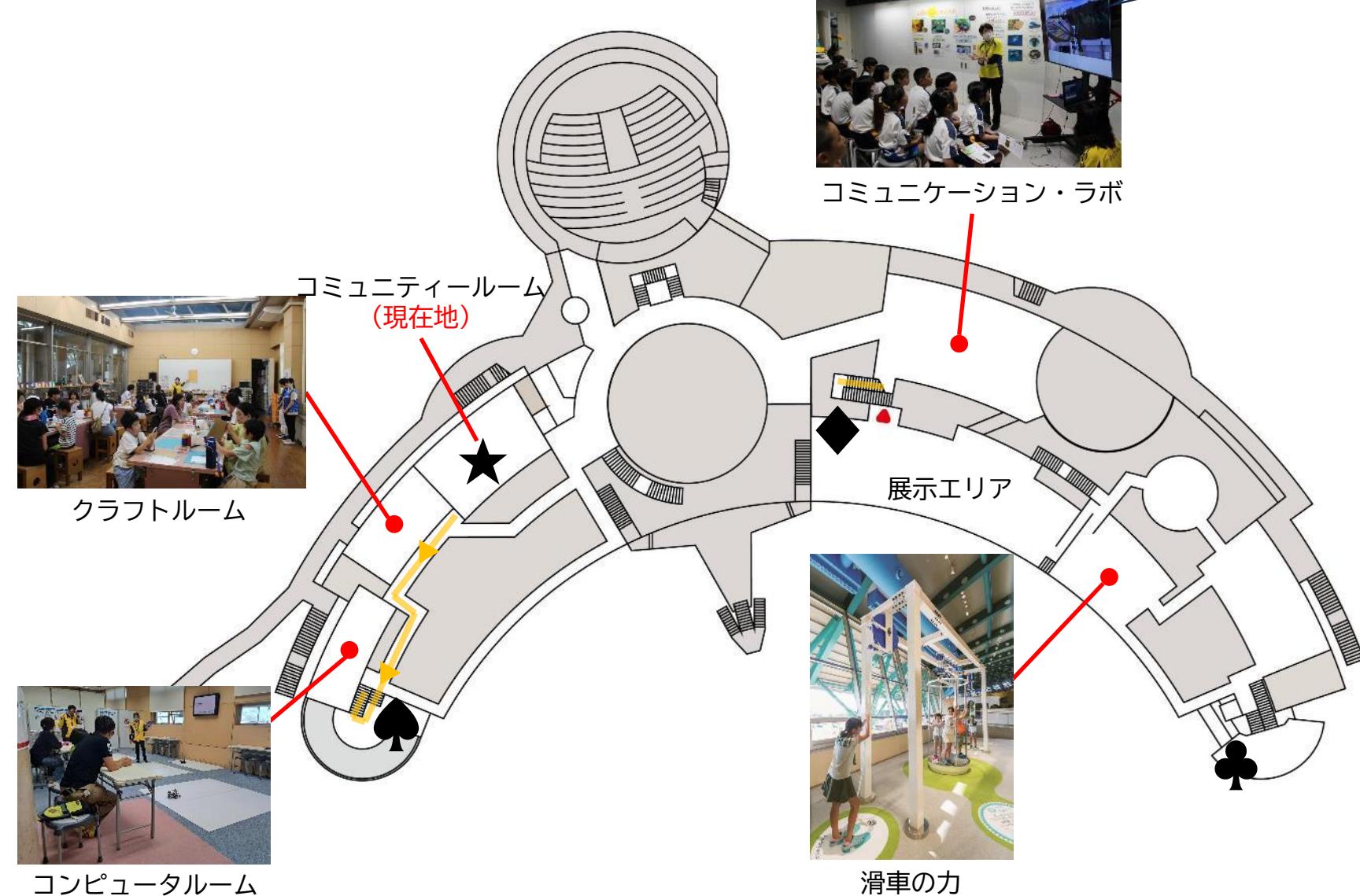


サイエンス・ショールーム

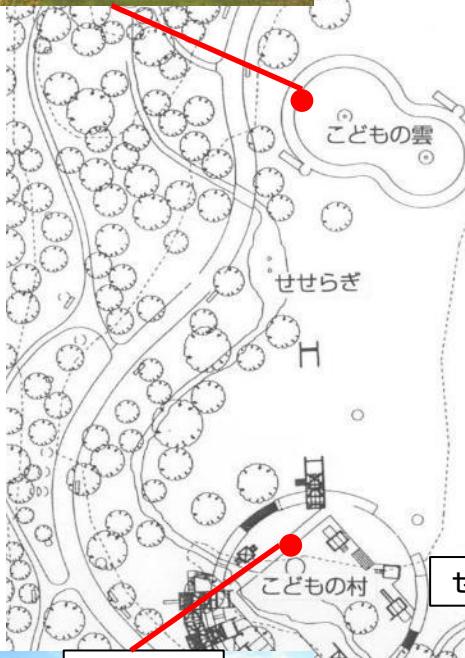
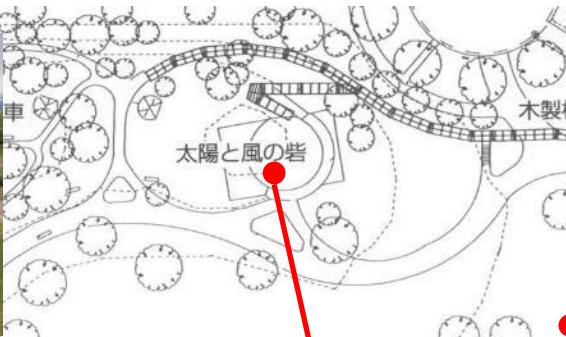
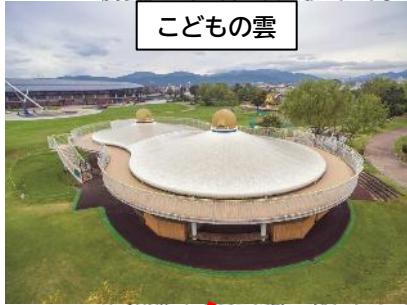


館内レイアウト（2階）

2階

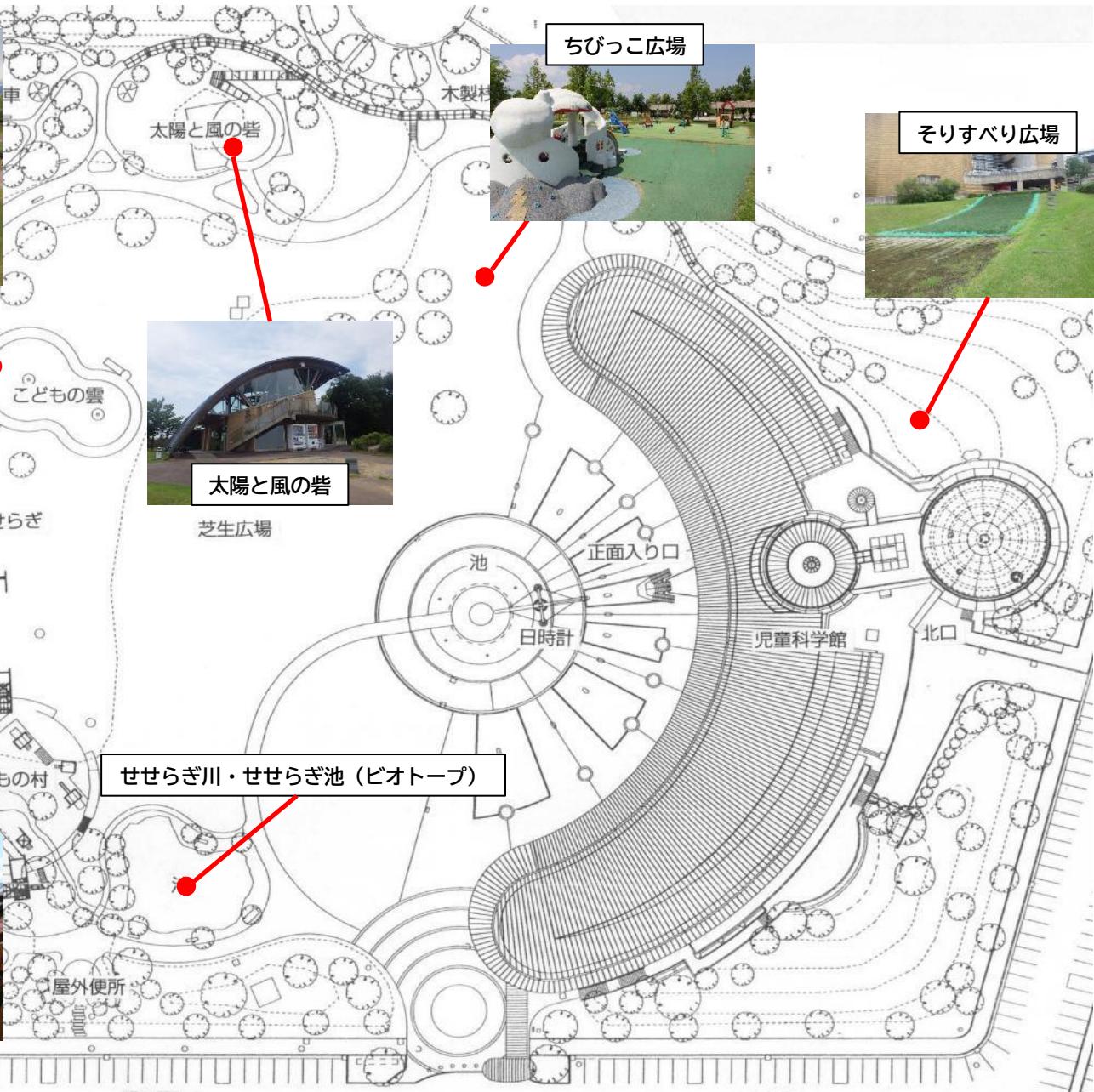


屋外施設、遊具



芝生広場

せせらぎ川・せせらぎ池（ビオトープ）



令和6年度の行事等

夏の企画展（シルバニアファミリー展）



6mを超えるジオラマ



「宇宙」をテーマにした
ジオラマを特別に制作

青少年のための科学の祭典



石鹼づくり（平章小学校）



バランストンボ（芦原中学校）

各季節の行事



GW
(星空ダンボール迷路)



ハロウイン
(ハロウインファッショントークン)
啓新高等学校 ファッショントークン



クリスマス
(クリスマスお楽しみ会)



お正月
(書道ガールズパフォーマンス)
三国高校・書道部・美術部

児童館フェスタ(県内児童館等との連携)



工作教室（各児童館職員）



元気によさこい

県・坂井市との連携



こども食育イベント



Sakai City's Christmas Concert
(坂井市職員)

最近の新たな取組み等



「さいえんちゅう」による広報の強化



Instagramを活用した積極的な発信



県建築組合連合会との連携
(大工さんになってみよう)



こどもたちが遊びたいおもちゃを投票
(得票上位のおもちゃを実際に導入)



本格的なお買い物ごっこができるコーナー新設
(みんなのたのしいおみせやさん
きらきらエンゼルショップ)



ボランティア主体のワークショップ



展示解説システムを導入（職員制作）



案内リーフレットリニューアル（英語版も作成）



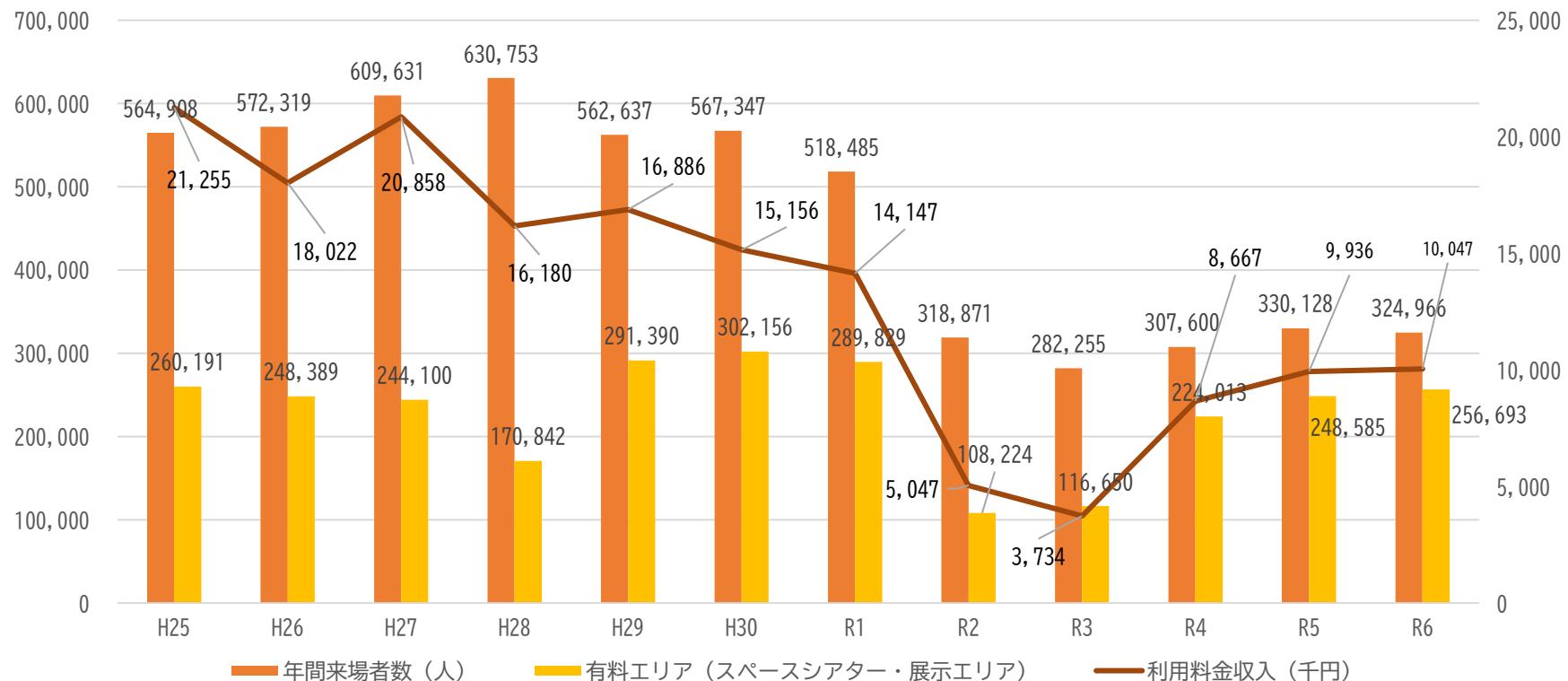
「いつでもクラフト」を新設
(工作・塗り絵体験コーナー)

3 福井県児童科学館の現状と課題

入場者数と利用料金収入の推移

- 来館者数のピークは約63万人（H28）であり、最小は約28万人（R3）
- コロナ（R2～R3）による来館者数の大幅な減少から持ち直しているが、ピーク時の半分程度で推移
- 一方で、有料エリアの入館者数は、ピーク時程度に回復しているが概ね横ばいで推移している。

児童科学館来館者数・料金収入の推移



利用者の声 アンケート結果について①

【実施概要】

期間：令和7年7月19日(土)～8月31日(日)

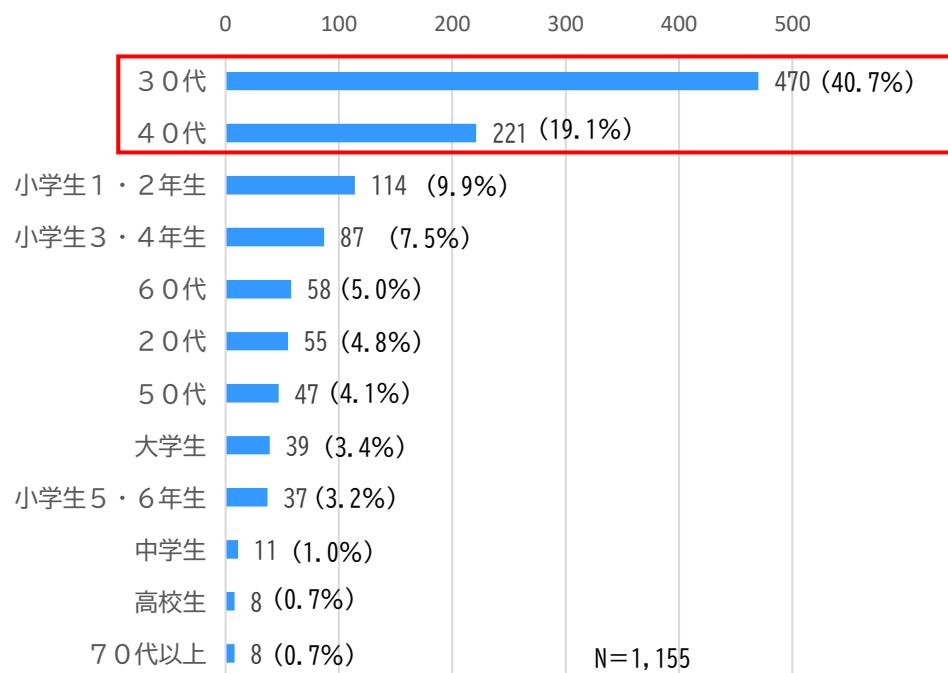
実施方法：オンライン (Microsoft forms) および紙媒体 (エンゼルランドふくいにて配布)

回答数：1,155件

項目：①年代 ②何人で来館したか ③同伴者の年代 ④お住まいの地域 ⑤利用頻度 ⑥よく利用するエリア
⑦今後導入してほしい施設やサービス ⑧スペースシアターについて ⑨改善して欲しいエリア・サービス
⑩県内の遊び場環境についての意見

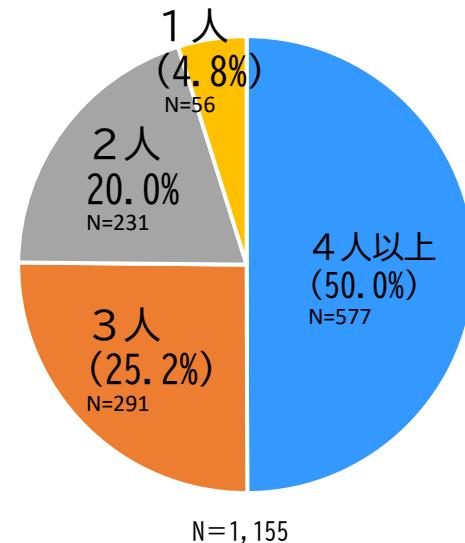
【①回答者の年代】

- 30・40代といった子育て世帯が全体の約6割



【②何人で来館したか】

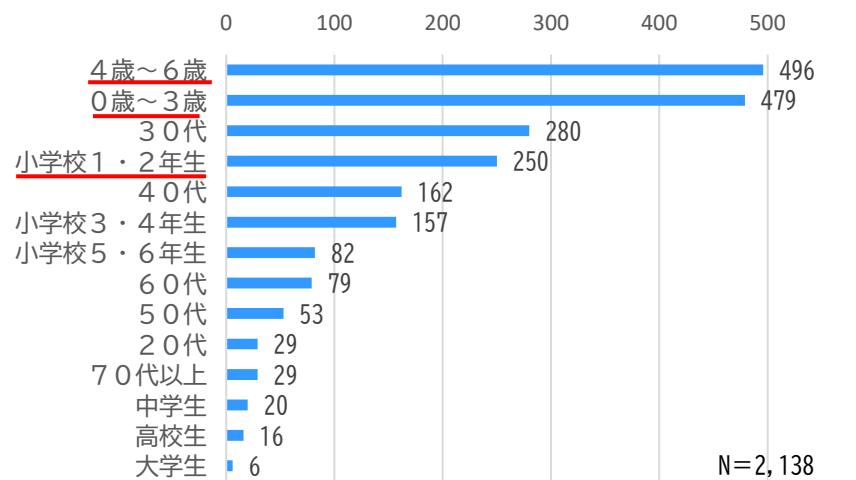
- 親子や3世代で複数名で来館する割合が非常に高い



利用者の声 アンケート結果について②

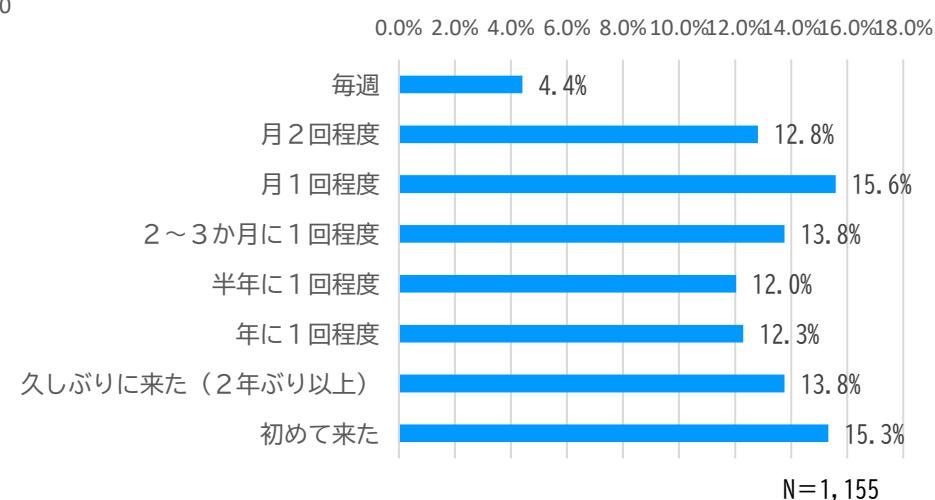
【③同伴者の年代（複数選択可）】

- ・ こどもの年代に着目すると、①未就学児（4歳～6歳）
②（0歳～3歳）③小学1・2年生の順で多く、低年齢層が中心



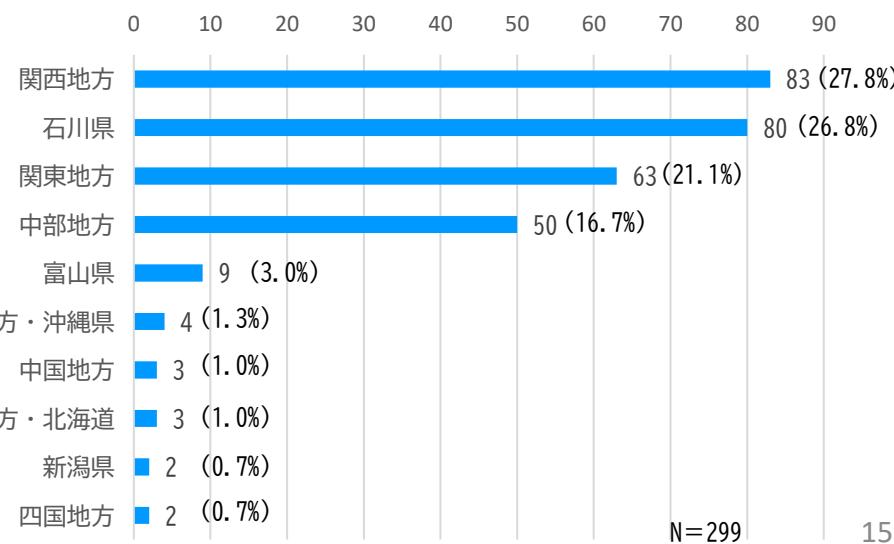
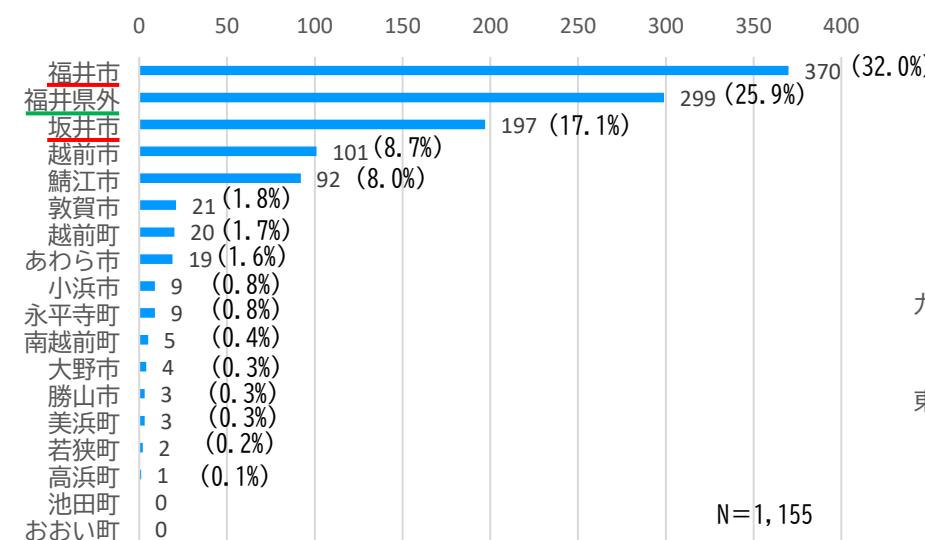
【⑤利用頻度】

- ・ 毎週～月1回程度といった高頻度で利用している割合は約3割（32.8%）



【④お住まいの地域】

- ・ 福井市、坂井市の近隣エリアの割合が約5割、福井県外の割合は約2.5割で、①関西、②石川、③関東、④中部の順で多かった

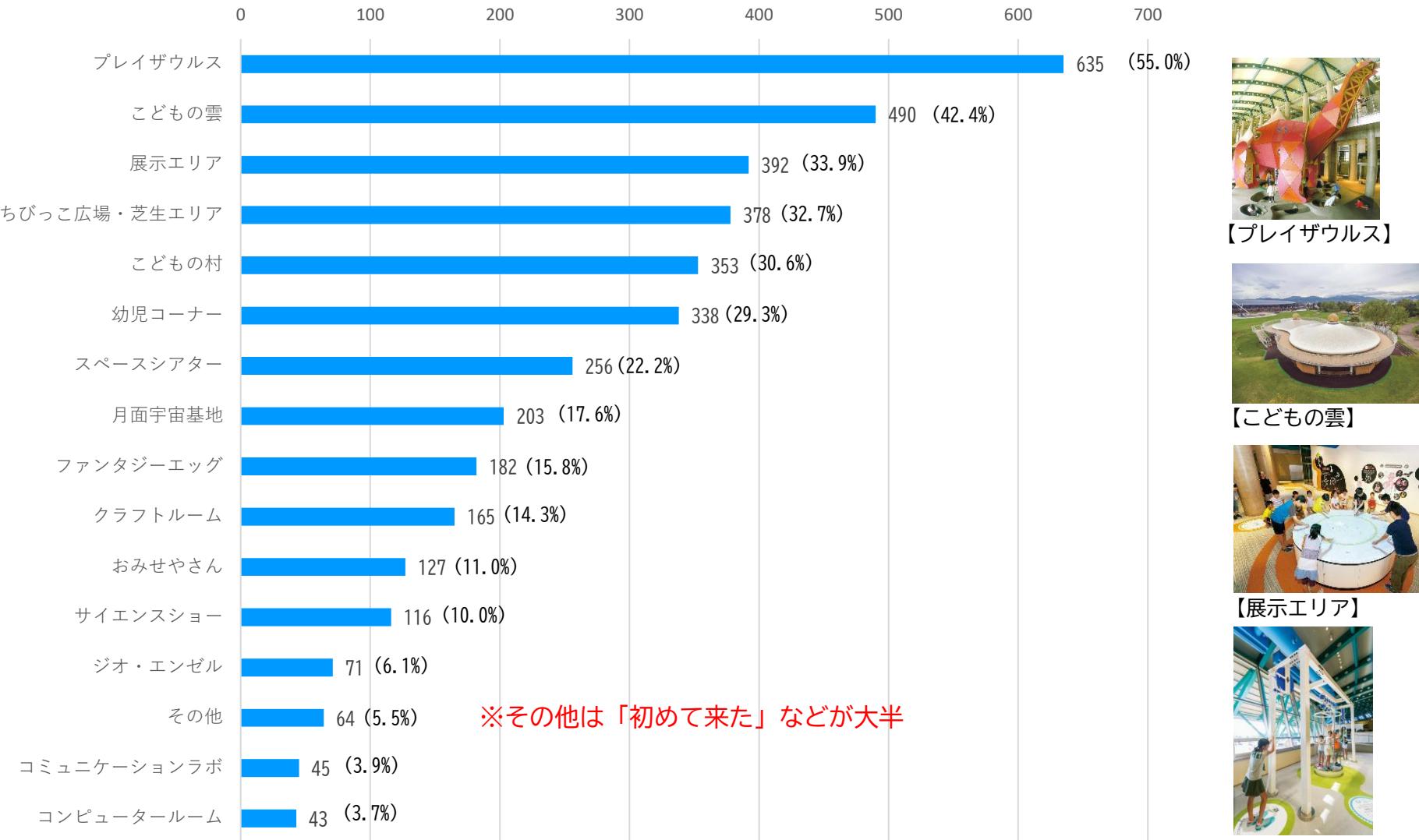


利用者の声 アンケート結果について③

【⑥よく利用するエリア（複数選択可）】

・プレイザウルスやこどもの雲といった大型遊具は回答者の約半数が選択するなど人気が高い、展示エリアも約1/3が選択

※()は全回答者1,155に占める割合

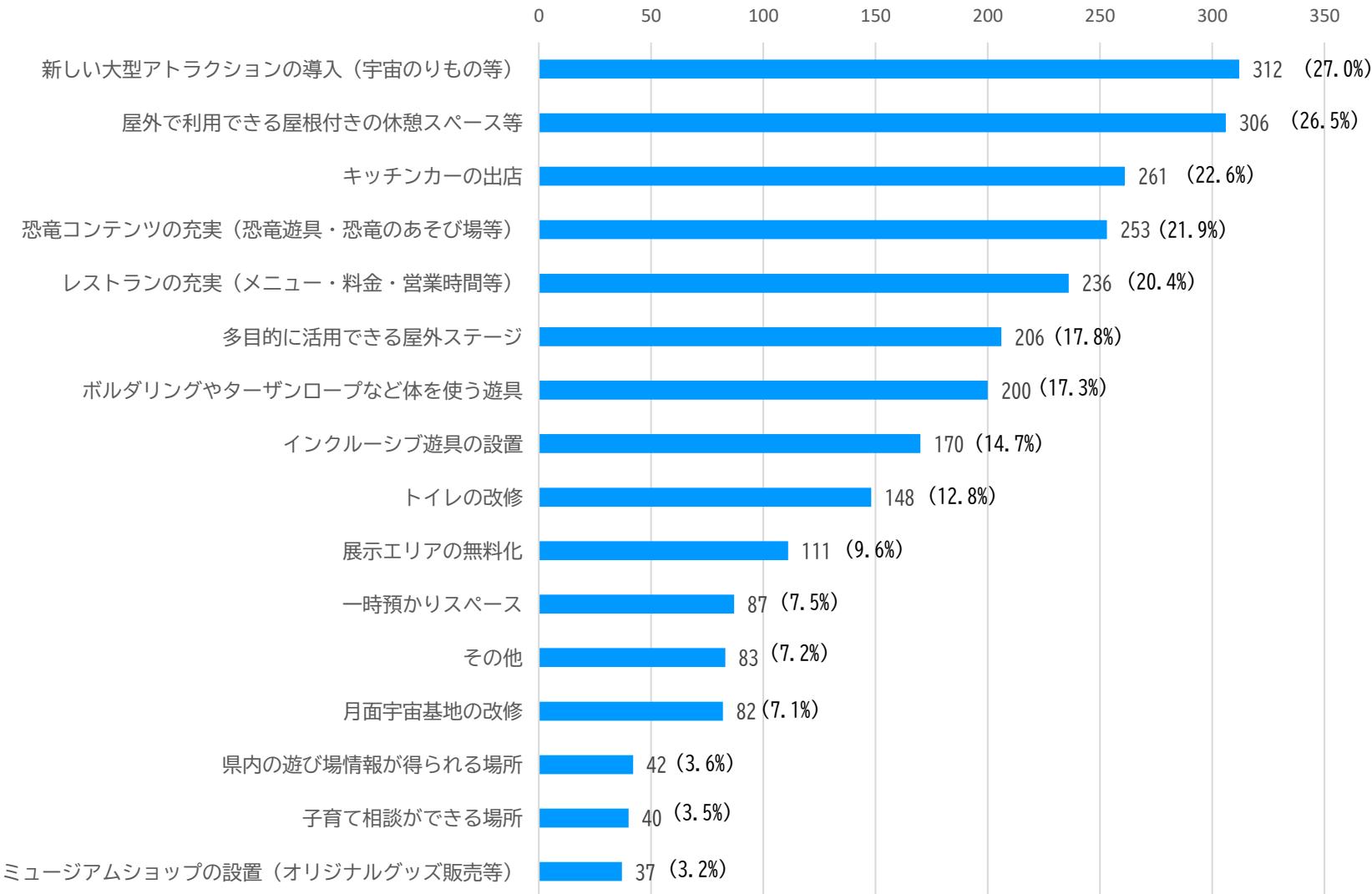


利用者の声 アンケート結果について④

【⑦今後導入してほしい施設やサービス（複数選択可）】

- ・新しい大型アトラクションや恐竜コンテンツの充実（恐竜遊具・恐竜の遊び場等）といった遊び場としての機能の充実を望む声や、屋外で利用できる屋根付きの休憩スペース等やキッチンカー・レストランの充実といった飲食・休憩エリアの充実を望む声が非常に多かった。

※()は全回答者1,155に占める割合

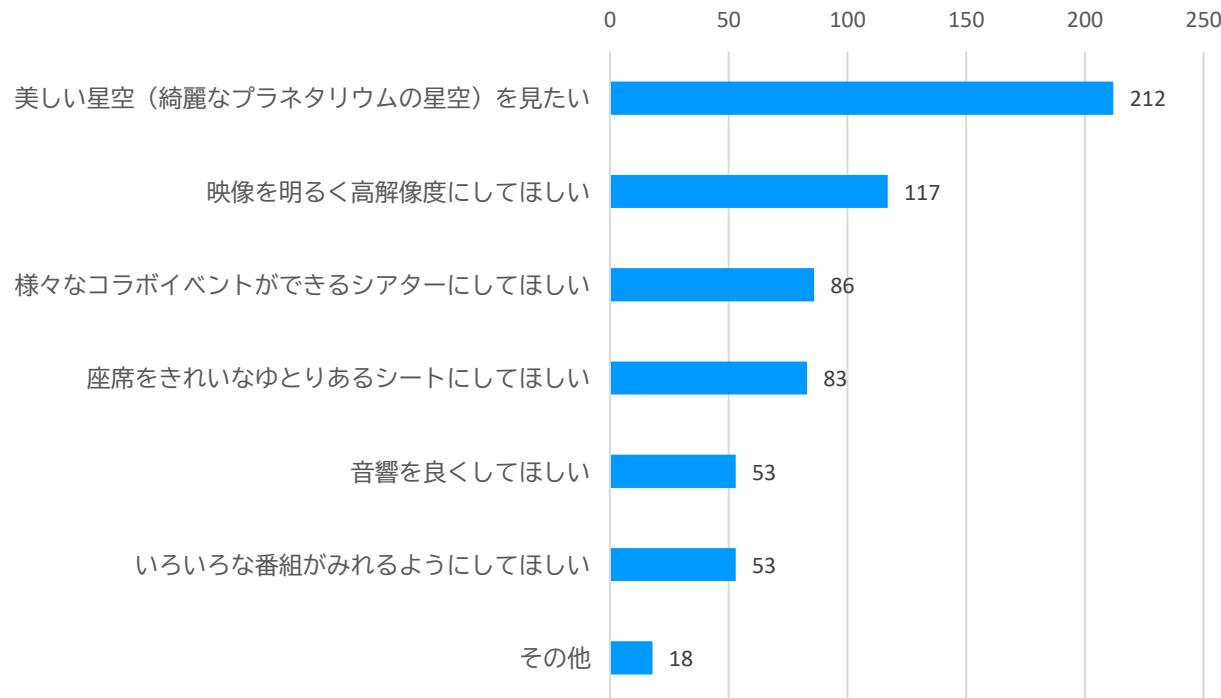
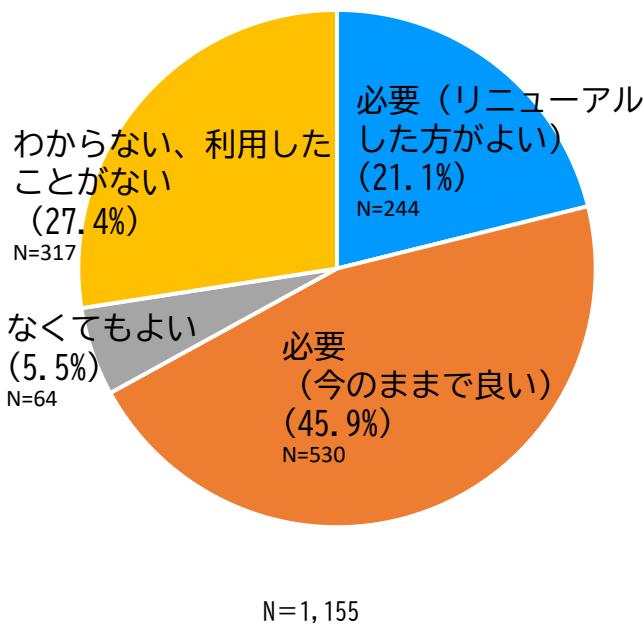


利用者の声 アンケート結果について⑤

【⑧スペースシアターについて】

- ・スペースシアターについては約7割の方が必要（「必要（リニューアルした方がよい）」「必要（今まで良い）」）と回答した
- ・必要（リニューアルした方がよい）と回答した理由については、美しい星空（綺麗なプラネタリウムの星空）を見たい、映像を明るく高解像度にしてほしいといった、美しい映像を望む声が多く、様々なコラボイベントができるシアターにしてほしいといったプラネタリウム以外の活用もできる施設にしてほしいと望む声も一定数あった。

【リニューアルした方がよい理由（複数選択可）】



利用者の声 アンケート結果について⑥

【⑨改善してほしいエリア・サービス（※1～5はカテゴリー別に分類した際意見が多かった順を示している）】

- ・室内での遊具や遊び場の充実を求める声や、レストランの充実、キッチンカーなどの飲食関連の充実を求める声が多かった
- ・トイレについても古い印象があり、新しくしてほしい、洋式化してほしいといった声が多かった
- ・暑さ対策として、屋外の屋根付きの休憩所を望む声、幼児や未就学児が遊べるエリア等の充実、年齢ごとにゾーニングしてほしいといった声が多かった

1 遊具・遊び場関連

- ・室内での遊具、遊べるスペースを増やしてほしい
- ・室内の遊具で小さい子が遊べるものがあるとよい（ブランコ、すべり台など）
- ・外に遊具をもっと増やしてほしい
- ・子どもの雲に屋根をつけてほしい
- ・恐竜やご当地ポケモンのカイリューとコラボした遊具があるとよい

2 飲食関連

- ・レストランのメニューを充実して欲しい、こども向けのメニューがほしい
- ・キッチンカーなどテイクアウトの軽食が買えるとよい
- ・フードコートがほしい
- ・屋内の食事スペース増やしてほしい
- ・多目的ルームで飲食用のローテーブルや幼児用のいすがあると乳幼児も昼食が食べられるので大変ありがたい

3 トイレ関連

- ・トイレを新しくしてほしい
- ・トイレを洋式化してほしい
- ・トイレが狭いので個室が広いと助かる
- ・トイレのにおいが少し気になる、古い印象

4 休憩スペース関連

- ・屋外にも屋根付きの休憩所がほしい
- ・屋外でこどもから目の届く距離の休憩スペースがほしい
- ・夏の暑さ対策
- ・同伴する大人がゆっくりできる場所があるとよい

5 幼児・未就学児関連

- ・幼児コーナーの増設と年齢ごとに使えるエリアをゾーニングしてほしい
- ・小さい子が思いっきり遊べる室内遊具広場があるとよい
- ・未就学児も参加できるイベントがもっとあると嬉しい
- ・幼児エリアのおもちゃがもっと増えると嬉しい

6 施設関連・その他

- ・点検中のものが多い、壊れているものを直してほしい
- ・プラネタリウムの光度が低く目が痛かった
- ・外のターザンロープを直してほしい
- ・水遊びの後着替える更衣室がほしい
- ・月面宇宙基地をたくさんスムーズに体験できるように

子ども・若者の声を聴くためのワークショップ(概要)

時：令和7年8月17日(日) 10:30～12:00

所：福井県児童科学館

催：福井県こども未来課、福井県児童科学館

対象：小・中・高校生および保護者等

参加者：43名(一般35名、関係者8名)

実施方法：7班に分かれて、それぞれの班で、①エンゼルランドの好きなところ ②エンゼルランドにあったらいいものをテーマにワークショップを実施した。

結果：次ページ参照

【8/18福井新聞 21面】

開館25年目に入った坂井市
の県児童科学館の遊具施設などについて、利用者の親子が
意見やアイデアを出し合つ
て、空中ブランコ、D.F.O.
などの遊具、同館キャラク
ター「さいえんちゅう」のゲ
ーム台など、楽しい体験が
できる施設を次々と提案
していた。(佐々木紀光)

坂井 恐竜遊具、フードコート…

利用者35人意見交換



上育親しまれる施設へ
県と同館が今後の方り方を
検討する上で、意見を参考
にしようと開催した坂井
市と同様の「はま彩」の
「子ども意見のあつら
いもの」はま彩。カイト
は人気遊具なのでぜひ復活
をしてほしい」と話していた
ところを撮影し「使えなく
なっているターザンロープ
は人気遊具なのでぜひ復活
をしてほしい」と話していた
ところを撮影し「使えなく
なっているターザンロープ

【F B C】

社会

より楽しく安全に学べる施設に
開館25年、エンゼルランドふくい
で意見交換会 子ども「遊べるエリアを増やして」 保護者「フード
コートや着替えスペースを」

2025年8月17日 18:08



【WS意見交換の様子】



【WSグラフィックレコーディング】



【WS終了後記念撮影】



子ども・若者の声① エンゼルランドの好きなところ

- こどもの雲やプレイザウルスといった**体を思い切り動かせる施設**や、プラネタリウムやムーンウォーカーなど**宇宙に関連したエリア**や、こども向けに様々なイベントを実施している点が好きといった声を多くいただいた。
- **悪天候時でも室内で長時間遊べる**点や、**無料で楽しめる施設が多い**点など、**施設の利用しやすさ**に対して好意的な意見を多くいただいた。

<場所・イベントに関する声>

- ・ こどもの雲は小さい子も大きい子も遊べるところ
- ・ プラネタリウムが大きい・本格的
- ・ プラネタリウムは**大人も癒される**、休憩できる
- ・ プレイザウルスが大きくて楽しい
- ・ ムーンウォーカーは本当に宇宙にいっているみたい
- ・ ナンバーフィッシュで魚を自分でつかまえて真ん中に入れるのが楽しい
- ・ 展示エリアで遊びながら学べる
- ・ ファンタジーエッグでいろいろなイベントが開かれる
- ・ サイエンスショーがおもしろかった
- ・ おみせやさんで買い物体験ができるのがいい
- ・ **工作**が楽しい、作って持ち帰れるのがうれしい
- ・ こども向けのイベントがたくさんあるところ
- ・ 川に生き物がたくさんいる

<エンゼルランドの特徴等に関する声>

- ・ 休みの日でも**ワンオペでみやすい**
- ・ **室内で長時間遊べる**ところ
- ・ 雨でも中でたくさん遊べるところ
- ・ 涼しくて**全天候型遊び場**で助かる
- ・ **水遊び**も**川遊び**もできる
- ・ **無料で楽しめる施設が多い**、**コスパがよい**
- ・ 遊びながら**宇宙**に関する知識が増える
- ・ こどもだけで遊ばせても安心
- ・ ベンチが多く**こどもを見守りやすい**
- ・ 段差も少なくて**ハンデ**ある子にも**利用しやすい**施設
- ・ エレベーターが2か所あるので**車いすやバギーの子**でも**利用できる**ところ
- ・ とにかく広いので**いつ来ても新しい発見**がある
- ・ **科学**や**宇宙**を**身近に感じられる**

子ども・若者の声② エンゼルランドにほしいもの

- すべり台やインクルーシブ遊具など幅広い層が楽しめる遊具や、宇宙や恐竜といったエンゼルランドや福井県の特色を反映した遊具の導入、**プラネタリウムやムーンウォーカー**等の既存施設に関する意見多くいただいた。
- 保護者からは**カフェやキッチンカーなど飲食・休憩エリア**についての意見や、**猛暑・悪天候時も遊べるような工夫・施設**についての意見を多くいただいた。

遊具・遊び・展示エリア関連

- ・長くて大きなすべり台
- ・より宇宙に特化した施設や学びスペース
- ・新しい恐竜の遊具（プレイエリア）
- ・インクルーシブ遊具
- ・大きなボールプール
- ・ターザンロープ
- ・屋内にもトランポリンがほしい
- ・クライミングができる場所

新エリア・新施設関連

- ・お仕事体験ができる場所（キッザニアのような）
- ・いろんなスポーツができる場所をつくってほしい
- ・ニュースポーツができるエリアがほしい
- ・大きい屋根つきの広場がほしい
- ・カードゲームやボードゲームができるエリア
- ・屋内でボール遊びができるスペース
- ・調理できるスペース
- ・ミニチュアをつくる場所

飲食関連

- ・**カフェやレストランを充実してほしい**
- ・キッchenカーをいれてほしい
- ・スターバックス
- ・**フードコートのような場所がほしい**
- ・地元の料理を食べられるレストラン
- ・ウォーターサーバー

悪天候時対策・バリアフリー

- ・夏でも外で遊べる工夫（ミストや屋根など）
- ・**外で親が休めるところ（屋根付き）**
- ・トイレにユニバーサルシートがほしい
- ・健常児とハンデある子が一緒になって遊べる場
- ・手すり・アナウンス等ハンデのある子に優しい施設
- ・トイレ以外のところに授乳台があるといい

イベント・プログラム関連

- ・アウトドアイベントがあるとよい
- ・クラフト体験やワークショップの機会を充実
- ・デジタルアート展
- ・大人の人に向けたナイトプラネタリウム
- ・プロジェクトマッピング
- ・宝さがしゲームのような子ども心をくすぐるイベント

その他

- ・**プラネタリウムできれいな星を見たい**
- ・ムーンウォーカーの乗るところを増やす
- ・カブトムシが集まる木
- ・魚釣りができるところ、川に魚をふやしてほしい
- ・**トイレがもっときれいだといい**
- ・外で水遊びをした後の着替えスペース

4 主な論点

施設改善に向けた主な論点

福井県児童科学館の魅力を向上させ、より多くの方に利用してもらうため、どのような施設へ改善していく必要があるか（施設改善の方向性）

- 未就学児の利用が約7割という状況の中、より幅広い年代に利用してもらうためには、どのような施設改善が有効か
- 施設改修の予算が限られる中、利用者の声により多く応えていくためには、どういった考え方に基づき、どこに重点を置いた施設改善を進めるべきか

＜主な利用者の声＞

- ・新たな大型アトラクションの導入、恐竜コンテンツの充実、展示エリアの無料化
- ・屋外の屋根付き休憩スペース、多目的ステージ、スペースシアターの更新
- ・飲食スペースの充実、キッチンカーの出店
- ・体を使う遊具の更新、インクルーシブ遊具の設置、トイレの改修
- ・子の一時預かりスペース、子育て相談ができる場所

- その他、県児童科学館の魅力を一層高めていくため、どのような方策が有効か

施設改善の主な論点について

今後の施設改善に向けた主な論点を整理(利用者意見を踏まえつつ、優先順位も含めた検討が必要)

分野	主な論点、利用者の声	検討の方向性（案）
展示 ・ 遊具	①屋内遊具の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児コーナーの増設・充実や、年齢ごとのゾーニング、恐竜コンテンツの充実を希望する声 	プレイザウルスエリアを中心としたリニューアル検討 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 「恐竜」に関する新たな遊具の導入 ⇒ 未就学児の利用を想定した年齢別ゾーニング 等
	②展示エリアの改善 <ul style="list-style-type: none"> ・より宇宙に特化した施設や学びスペースの設置を希望する声 ・大型アトラクションの更新や運営面の改善、企画イベントの充実、展示エリアの無料化を希望する声 	展示コンセプトの再整理と、それに基づく改修検討 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 最新の技術・知識にふれるインタラクティブな展示の導入 ⇒ こども達がワクワクする大型アトラクションを導入 等
	③屋外遊具の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・大きなすべり台など大型遊具や幼児向け遊具の充実を望む声 ・夏でも外で遊べる工夫（屋根付きの広場、休憩所等）を望む声 	目玉となる大型遊具や屋根付き設備の導入検討 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 屋外の目玉となる大型遊具の更新・整備を検討 ⇒ 屋外遊具を全天候型に改修、または再整備を検討 等
設備	④スペースシアターの改善 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の7割以上が、スペースシアターの継続を希望 ・美しい星空（高解像度の映像）を望む声、コラボイベントの実施や座席の改修を希望する声 	高性能なプラネタリウム機器への更新、多機能化を検討 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ハイブリッド式の最新型プラネタリウムの導入 ⇒ 様々な企画で利用できるイベントホール的な機能 等
	⑤休憩・飲食スペースの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・フードコートやカフェなど、家族で休憩・飲食できるエリアの充実を希望する声 	施設内で休憩・飲食できる場所や機会の拡大を検討 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 飲食エリアや休憩スペースの充実、増設 ⇒ 活用頻度が少ない屋外施設などを休憩スペースに転用 ⇒ キッチンカーが出店する機会の拡大 等
	⑥館内設備の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの改修を希望する声（清潔なトイレへの改修や洋式化、多目的トイレのユニバーサルシート設置 等） ・男性も使える授乳室や水遊び後の更衣室、遊具も含めたインクルーシブ対応や館内の一層のバリアフリー化を希望する声 	利用者ニーズを踏まえた設備更新を検討 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ トイレを中心に、乳幼児や障がい児、保護者が利用しやすい設備への更新（トイレの個室内展示など楽しく使える工夫等） ⇒ 新規改修時におけるインクルーシブデザインの導入
その他	⑦安定した施設の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化等により利用できない機器や設備の修繕を望む声（限られた予算内における修繕等の考え方の整理 等） 	持続可能な運営体制づくりを検討 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 既存の財源や設備の有効活用と、計画的な修繕 ⇒ 料金設定の見直しや民間資金の導入拡大による財源確保 等

参考 福井県の子育て支援について

日本一幸福な子育て県「ふく育県」の推進（これまでの取組み）

ゆりかごから巣立ちまで、切れ目のない支援を実現



〔主な施策〕

- ・結婚祝い金、妊娠・出産時の経済支援
- ・日本一の**不妊治療支援**（負担上限6万円）
- ・中学生までの**医療費無償化**（市町事業と併せて、高校生まで無償）
- ・民間子育て支援サービス等の利用料補助（すみずみ子育てサポート）
- ・第2子以降の**保育料を無償化**（一時預かり・病児保育等も無償）
- ・ひとり親家庭の病児保育、放課後児童クラブ等の利用料補助
- ・多子世帯における**高校授業料の無償化、県内大学等の授業料支援**



ふく育県の機運醸成



ふく育さん、ふく育タクシー

- ・日本一の**男性育休支援**（1社最大600万円の企業向け奨励金）
- ・「**ふく育パスポート**」による、ふく育応援団店舗等での優待サービス
※ R4:デジタルバウチャー「ふく育割」、R5:デジタル地域通貨「ふく育ポイント」発行
- ・子育て支援サービス「**ふく育さん**」、「**ふく育タクシー**」の全県展開
※「ふく育さん」の利用者負担を軽減（1時間500円から。R7～）
※ R7より、新生児世帯や育児負担の大きな世帯を対象とした利用支援（R7～）
- ・雨や雪の日でも楽しめる**全天候型の遊び場整備**



遊び場の整備状況